

平成23年度 第13回ぐんま環境森林フェスティバル出展報告

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

去る、平成23年10月2日（日）に「第13回ぐんま環境森林フェスティバル」が、前橋市市内にある「群馬産業技術センター」にて開催されましたのでご報告いたします。

群馬技管協としては毎年参加しており、今年で3回目の出展となりました。 敬具

記

平成23年度 第13回ぐんま環境森林フェスティバル出展

開催日：10月2日（日）9:30～15:00

場所：群馬産業技術センター（前橋市亀里町884-1 前橋南インター近く）

群馬技管協出展内容：

群馬技管協事業の紹介と案内。

本部の事業の紹介と案内。（環境技術会誌の配布）

東日本大震災における廃棄物処理施設対応事例紹介。

出展担当：技管協事務局（出展参加者：花岡、高橋、岩崎、中島、石田、清水）

フェスティバル風景：



↑開催に先立ち、呼び込み和太鼓演奏や地元幼稚園児やG-FIVEのパフォーマンスがあった。



↑群馬技管協出展風景

他の出展紹介



↑群馬の森林の保水力が果たす役割を紹介（裸地、草地、森林の各模型を使い、降雨に見立てた水を流しかける。しばらくして浸み出してくる水の色と、濁り具合が違うということを視覚的に示し、森林の大切さを説く）。



↑循環型会社形成に向けて、エコカー（電気自動車・ハイブリッド車）の紹介と試乗。
（東日本大震災以降、車載バッテリーを家庭内電源（停電対応や電力ピークカット）とする方法も検討されている。試乗して体験して考えてみるというコーナーが設けられた。

特別講演：登山家 岩崎元郎氏

「2011年は国際森林年でもあり、10月が「ぐんま山と森の月間」である。NHKテレビの趣味講座において登山講師として活躍された「岩崎元郎」氏の講演会が開催された。

氏によると、ある市の教育委員会に匿名メールが届き、その内容は小中学校の庭の夾竹桃（夏には白やピンクの花を咲かせる）の葉に毒があるから撤去するよという趣旨の内容であったとのこと。

教育委員会はそれは大変なことと、600本の夾竹桃を全て伐採するよう各学校に通知した。

今度は、「生徒に危険を教えれば済むことだ。」との批判が殺到し、10日後には通知を撤回するという新聞報道を紹介されたとのこと。

場当たりの誰も責任を取る覚悟がない。情報過剰で頭の中がいっぱいになってしまっている。これでは日本の元気がなくなってしまう。

「山に登って、頭を空っぽにしてから考えよう。」と切り出し、登山を中心に自然とのふれあいが日本を活性化するのに必要であると、自らの体験を語りながら力説された。

以上
